



© Ano da Morte de Ricardo Reis

リカルド・レイスの死の年

©Ar de Filmes

上映作品:
「リカルド・レイスの死の年」
(原題: O Ano da Morte de Ricardo Reis)

作品について: リカルド・レイスは友人フェルナンド・ペソアの訃報に接し、リオデジャネイロから16年ぶりに帰郷。欧州にファシズムが台頭し、ポルトガルでも独裁体制が敷かれ始めた時代。そんな鉛色の時代にレイスは現実と夢が溶け合ったかのようなリスボンを彷徨い、白昼夢のような光景のなかでペソアと邂逅する。今年生誕100年のノーベル賞作家ジョゼ・サラマゴの同名小説の映画化。ポルトガル映画アカデミーソフィア賞 撮影賞・美術賞(2021年)、CinEuphoria賞 撮影賞(国内作品)・トップ10作(国内作品)(2021年)受賞。

監督: ジョアン・ボテーリョ
2020年 / ポルトガル / ポルトガル語 / 132分 / 日本語字幕付き

主催: 東京外国語大学TUFS Cinema
協力: ポルトガル大使館文化部(CCP)、東京外国語大学多言語多文化共生センター

上映前後講演者:
渡辺 一史(わたなべ かずふみ)

ポルトガル大使館勤務。2012年、東京外国語大学博士(学術)取得。専門はポルトガル近現代文学・思想史。翻訳に、Fernando Pessoa Self-Analysis and Thirty Other Poems(『フェルナンド・ペソア 自己分析 他30篇の詩』[2022]、Editora Dilúvio)など。

2022年

12月19日

16:30上映開始(開場16:00) 【月】

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

プログラム
- 映画『リカルド・レイスの死の年』
本編上映
- トーク: 渡辺 一史 (ポルトガル大使館)
司会: 水沼 修 (東京外国語大学)

入場無料 / 先着順 / 事前登録(定員250名)

登録フォーム <https://forms.gle/wA34CqYiCFi7CCiW7>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をしていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。
※感染対策のため、必ずマスクを着用の上、ご来場ください。



参加登録
フォーム

事前登録制



TUFS Cinema とは、
東京外国語大学が不定期に開催する
一般公開の映画上映会のことです。
世界には、さまざまな価値観や
言語文化的背景を持つ
民族・宗教・社会が存在し、
多種多様な「暮らし」が
繰り広げられています。
こうした世界の諸地域の諸相を
映像とトークを通して見つめ、
理解を深めていきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携室
(TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5867**
(平日9:00-17:00)

Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook [@tufscinema](https://www.facebook.com/tufscinema)
Twitter [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<http://wp.tufs.ac.jp/tufscinema/>

